

ストが同社のクラウドサービス「BIM360GLUE」とアプリ「BIM360Layout」を活用した現場での墨出しや施工状況の取得など一連のワークフローについて解説した。

その後、実機によるデモンストレーションが行われた。

野社長は「技術提案やBIMによるソリューションの提供が急増している中、現場でも活用できるという思いで開催した」と述べた。

セミナーでは、千代田測器、トプコン、オートデスクの3社が提供するBIMモデル、クラウドサービス、測量機器を連携させることで、現場作業の省力化や施工管理に貢献するソリューションについて説明した。

千代田測器の平原幸男ICT営業推進部次長から杭打ち作業や座標取得の効率化に最適なトプコンの「LN1100」について紹介があった。

続いて、オートデスクの大浦誠技術営業本部建設ソリューションクラウドスペシャリ

活用のメリット紹介

千代田測器が施工

BIMセミナー

千代田測器(東京都台東区、平野啓太郎社長)は19日、東京都中央区のオートデスク本社で「施工BIMセミナー」を開催した。写真。業界関係者など約70人が参加し、施工現場におけるBIMモデル活用のメリットについて説明を受けた。

冒頭、あいさつに立った平

